

第15期 草ヶ江校区まちづくり協議会総会を開催

第15期(平成20年度)活動方針

①九大跡地利用計画の具体化に伴う検討(街並みのルールづくり実現に向けた取組み)

九大跡地利用について、「九州大学六本松キャンパス跡地利用計画」に基づき、南側の裁判所等も含め、跡地全体において、周辺環境に配慮しながら良好なまちづくりを行う方針やルールを決めていくこと、及び北側(複合利用ゾーン)や広場の確保などについて、地域で望まれる土地利用、地域における使い方など、具体化に伴う検討を行います。これらの検討結果を地域勉強会の開催や広報などの方法で、地域で共有を図り、これらの成果を、福岡市や事業者等に提案します。また、「街並みのルールづくり」について、九州大学跡地やその周辺、ルールづくりに関心がある地域などで、具体的な内容等についての検討を行ってまいります。

②六本松交差点などの道路混雑の改善の継続的取組

昨年に引き続き、六本松交差点周辺を始め、九大跡地計画と連動した周辺道路網の改善等について、関係機関に要請してまいります。

③バリアフリー道路等についての検討

本年度予定されているバリアフリー道路の具体的整備について、中央区と意見交換を行います。また、今後の校区内の整備見直しなどについて意見交換を行います。

④花を育てる会の支援

フラワーポットの管理を行っている「花を育てる会」の支援を行います。

今年度は、いよいよ「九州大学六本松キャンパス跡地利用計画」の実現の時がやってきました。このため、地域の方々の参加を得ながら、勉強会やワークショップ等の手法を活用し、跡地のまちづくりのガイドラインや土地利用等を検討するとともに、関係機関との協議を進めてまいります。また、六本松交差点やバリアフリー道路の整備等についても検討します。

平成19年度の事業報告・決算報告及び監査報告が行われ承認されました。引き続き平成20年度事業計画、並びに予算案が出され可決されました。

7月25日、公民館にて、第15期(平成20年度)の総会が開催されました。

そこで、九州大学六本松キャンパス跡地利用については、計画の早急な具体化が必要とされることから、「九州大学六本松跡地利用に関する要望書」を、九州大学梶山総長、福岡市吉田市長、山崎拓衆議院議員に提出しました。今後事業予定者の決定を始め、具体化に向けての取り組みを早急に進めていくこととご要望しました。また、地域からの要望書を重く受け止めているとのことでした。

【早麻会長挨拶より】
14期は、平成19年5月に策定された「九州大学六本松キャンパス跡地利用計画」をもとに、九州大学跡地計画の具体化の検討に向けた取組みを予定していましたが、諸般の事情もあり、跡地利用計画の具体化の方向性が決定されず、これに対するまちづくり協議会の取組みは十分行えない状況となりました。

(2)また、九大跡地整備に併せた、周辺の道路整備の検討、「草ヶ江校区まちづくり計画」の実現のため、具体的な街並みのルール内容についての検討、バリアフリー道路についての協議等を行ってまいります。

平成20年度は、次のことに取り組みます。
(1)九州大学跡地利用については、南側への裁判所等の立地や跡地北側を複合利用ゾーンとしていくこと、中央広場を設けることなどが計画されています。事業予定者がまもなく決まると予想され、この予定者とともに、跡地利用計画について、共同で検討していく体制の整備や、ワークショップ・広報などによる方法で、具体的な跡地のイメージづくりなどを行っていくことが重要と考えています。これを地域意見として取りまとめ、市や事業者へ伝えてまいります。

六本松
まちづくり
草ヶ江
第13号

発行
草ヶ江校区
まちづくり協議会
事務局
福岡市中央区六本松1-11-1
草ヶ江公民館内
☎741-7998



●早麻会長あいさつ



●九州大学 江頭統合移転推進室長あいさつ



●総会風景

九大跡地のまちづくりワークショップの参加者を募集します！！

(ワークショップの目的)

★平成21年3月にいよいよ九大の移転を控え、六本松キャンパス跡地利用計画(平成19年5月策定)をもとに、跡地のより良いまちづくりを目指して、地域の意見を取りまとめるためのワークショップを行います。

(ワークショップの方法)

★ワークショップは、平成21年3月までに3回行う予定です。
★第1回は右図のとおり、キャンパス内をウォッチングし、緑や記念碑、敷地周辺から見た跡地の特徴等について、現状を調査します。
★第2~3回は、広場や歩行者空間、北側敷地の土地利用などをテーマに検討予定です。

ワークショップの参加者を募集します！！

★対象者

・草ヶ江校区、梅光園1丁目、梅光園団地においてお住まいの方又は仕事をされている方(定員50名:応募多数の場合、対象者が各地区に分散するように抽選します。)

★申し込み方法(申し込み期限:平成20年10月8日(水))

下記申込書に必要事項を記入の上、草ヶ江公民館に持参、又は、草ヶ江公民館にFAXをお願いします。申し込み期限の遵守をお願いします。

草ヶ江公民館 FAX 741-5812
(住所:六本松1-11-1、電話:741-7998)

問合せ先:まち協跡地ワークショップ実行委員会
代表:小松 至誠(まち協副会長)草ヶ江公民館 又は
福岡市大学移転対策部跡地計画課(大道寺、前田)電話:711-4154

■第1回ワークショップのプログラム(予定)■

①説明・九大キャンパスの視察 ……10:30~12:00

・概要説明やワークショップの目的、手順を説明します。
A班:キャンパス内の樹木や記念碑等を調査
B班:敷地周辺の状況から見た跡地の特徴等を調査

②グループ討議(昼食時間を含む) ……12:00~13:30

・現地調査の結果のまとめや課題の抽出、跡地のキャッチフレーズづくりなどを行います。

③発表とまとめ ……13:30~14:30

・発表及びまとめ等を行います。

(ワークショップの日時、場所)

★日時(雨天決行)

平成20年10月25日(土) 10時30分~14時30分
(4時間程度[昼食30分を含む]:おにぎり飲み物を用意します。)
10:00より受付開始

★場所

九州大学六本松キャンパス 新1号館N143講義室
(正門から入り、右折、図書館の南側〔奥側〕の茶色の建物の4階)
※当日、正門近くに案内板、案内者を配置します。
※駐車場はありませんので、公共交通等をご利用ください。

ワークショップ参加申込書 (ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、このワークショップの目的以外には利用いたしません。)

氏名 () 年齢 (歳代) 性別 (男、女)
住所又は勤務先住所 ()
連絡先※: 電話 (-) FAX (-) e-mail ()

※連絡先は、必ずご記入ください。
FAX、e-mailの利用が可能な方は
こちらでもご記入ください。